

# 地域通貨



かさはらのりひろ 笠原規弘議員が町に問う！

## デジタル地域通貨の研究を

答弁 導入について商工会と研究します

Q 財務省は、一定の条件を満たすことで自治体等が発行する商品券の複数回利用を適法と示した。町内における商品券の複数回利用の検討は、地域内の経済循環にもつながるのではないかと。

A にぎわい創出課長 次回実施の機会を得た際には、商工会と連携を図り検討します。

Q 深谷市は電子通貨「ネギー」をスタートした。当町でも研究を。

A にぎわい創出課長 地域通貨のデジタル化について、商工会と連携し、導入について研究を進めていきます。

## コロナ禍のセタまつり

Q 庁舎前の通りに竹飾り用の穴を施工し、安全性が向上した。他の区域への拡充を願うが。



あの日、あの時の竹飾りのトンネルを

# 町民会館



たかはし高橋さゆり議員が町に問う！

## 大ホールの今後の在り方は

答弁 施設の機能やニーズを考慮し検討します

Q 空調設備の老朽化で、大ホール棟は使用できない状況にあるが、「文化の拠点」としての役割や、目的の達成などに支障はないかと。

A 生涯学習課長 大ホールで行われるようなコンサートや大規模な集会等は、屋外ステージを活用するなど、事業の実施に工夫を凝らしながら取り組んでいきます。

Q アセットマネジメントの観点から、今後の施設の在り方等は。

A 政策推進課長ほか 施設の耐震化をはじめ、空調や音響、照明などの設備改修が必要です。あくまでも令和元年度での試算ですが、最低限の改修費用として約6億円を見込んでいます。また、仮に大ホール棟を取り壊す場合の費用としては、1億2000万円とのことです。現状においても地震の際



耐震に不安が残る大ホール棟

# 買い物支援



いぐちりょういち 井口亮一議員が町に問う！

## 移住・定住支援策としては

答弁 「買い物に困らない町」として期待します

Q 町内にあるスーパーマーケットがネットスーパーのサービスを開始したが、町民生活への影響は。

A にぎわい創出課長 このサービス開始は町民の買い物にかかる選択肢を広げるものであり、利便性の向上や感染症拡大防止効果はもとより、「買い物に困らない町」として好影響が期待できるものです。

Q 高齢者が苦手なネット注文をわかりやすくする教室を、町・自治会が連携して運営することはできないか。

A にぎわい創出課長 スーパーマーケットの協力も得て、インターネットの利用が難しい高齢者の方等にとのような支援の方策があるのか、しっかりと考えていきます。

Q 利用者が負担する配送料や手数料を町が助成する買い物支援は。



ネット・スーパーのサービスが始まりました

A にぎわい創出課長 このようなサービスがあることで、買い物物が安心してできると、町への移住・定住を考えてもらえることも期待されます。配送料や手数料の補助については、同種のサービスとのバランスなどを注視して、研究していきます。

## その他の質問

●アウトレットにシャトルバスを

# 移住・定住



たなかてるこ 田中照子議員が町に問う！

## 移住から定住に必要な事は

答弁 周囲の住民との人間関係の構築です

Q 移住サポートセンターのさらなる充実に向けた取組は。

A 政策推進課長 観光案内所との連携を図りつつ、町のPRを継続するとともに、移住先となる物件を把握するため、不動産業者での物件調査、現地訪問調査等も積極的に行っていきます。

Q 空き店舗等活用補助金の令和4年度の実績等は。

A にぎわい創出課長 現在、5件程度の相談はありましたが、申請は1件です。今後、当初予算以上の申請があった場合は、財政状況をみて増額を検討します。

Q 移住から定住には何が必要だと考えるか。



人が人を呼び、新たなイベントも

農業が身近にある・都心へのアクセスがよい」等の意見とともに、「友人知人がいる・移住者同士での交流・地元住民との関わり」でした。このようなことから、移住者が定住者となり、永続的に暮らしていくには、周囲の住民との人間関係を構築していくことが大切であると考えます。



今回は思い切ってハーフに挑戦します！走り切れないかもしれないけど、精一杯頑張る！勝手… (S・Mさん 24歳)



今年も10kmがあれば挑戦したかったけど、今回は5kmにします。運動不足解消だあ！ (K・Tさん 23歳)



10kmがなくなってしまったので、人生初のハーフに挑戦!! (H・Yさん 51歳)



仕事で1度も見られなかったけど、よかったですね。(K・Nさん 79歳)